

県立高等学校の後期再編整備計画

平成 2 2 年 2 月

埼玉県教育委員会

目 次

1 幸手商業高校と幸手高校の統合	・・・ 1
2 大井高校と福岡高校の統合	・・・ 2
3 豊岡高校と入間高校の統合	・・・ 3
4 本庄高校と本庄北高校の統合	・・・ 4
5 吉川高校（全日制及び定時制）と草加高校（定時制）の統合	・・・ 5
6 玉川工業高校	・・・ 6
7 幸手商業高校（定時制）、松山高校（定時制） 及び児玉高校（定時制）	・・・ 6
8 和光国際高校	・・・ 7
9 与野高校	・・・ 7
（参考資料）	・・・ 8

1 幸手商業高校と幸手高校の統合

対 象 校	再 編 整 備 の 方 針 等
<p>幸手商業高校</p> <p>幸手高校</p> <p>(仮称：幸手新校)</p>	<p>(方針)</p> <p>幸手商業高校と幸手高校を統合し、新たな高校を現在の幸手商業高校に設置する。</p> <p>(時期)</p> <p>新たな高校は、平成25年度に開校する。</p> <p>(生徒募集)</p> <p>新たな高校は、平成25年度入学者選抜から生徒募集を行う。</p> <p>幸手商業高校は、平成24年度入学者選抜まで生徒募集を行う。</p> <p>幸手高校は、平成22年度入学者選抜まで生徒募集を行う。</p> <p>(課程・学科)</p> <p>全日制課程の商業系を主とする総合学科とする。</p> <p>(新たな高校の基本方針)</p> <p>産業経済の発展を担う人材として必要な基礎的・基本的な知識や技術を幅広く習得させる。</p>

2 大井高校と福岡高校の統合

対 象 校	再 編 整 備 の 方 針 等
<p>大井高校 福岡高校 (仮称：大井新校)</p>	<p>(方針) 大井高校と福岡高校を統合し、新たな高校を現在の大井高校に設置する。</p> <p>(時期) 新たな高校は、平成25年度に開校する。</p> <p>(生徒募集) 新たな高校は、平成25年度入学者選抜から生徒募集を行う。 大井高校は、平成24年度入学者選抜まで生徒募集を行う。 福岡高校は、平成22年度入学者選抜まで生徒募集を行う。</p> <p>(課程・学科) 全日制課程の普通科及び体育に関する学科とする。</p> <p>(新たな高校の基本方針) 地域との連携による社会貢献活動などを取り入れるとともに、きめ細やかな指導により基礎学力の定着を図り、進路希望を実現させる。 生涯を通してスポーツの振興発展に寄与する人材を育成する。</p>

3 豊岡高校と人間高校の統合

対 象 校	再 編 整 備 の 方 針 等
<p>豊岡高校 人間高校 (名称：豊岡高校)</p>	<p>(方針) 豊岡高校と人間高校を統合し、新たな高校を現在の豊岡高校に設置する。 同一市町村内の統合で、かつ課程及び学科に変更がないことから、新校は設置校である豊岡高校の名称を継承する。</p> <p>(時期) 新たな高校は、平成25年度に開校する。</p> <p>(生徒募集) 新たな高校は、平成25年度入学者選抜から生徒募集を行う。 豊岡高校は、平成24年度入学者選抜まで生徒募集を行う。 人間高校は、平成22年度入学者選抜まで生徒募集を行う。</p> <p>(課程・学科) 全日制課程の普通科とし、単位制を導入する。</p> <p>(新たな高校の基本方針) 多様な教科、科目を開設する教育課程を編成し、生徒、保護者の進学希望にきめ細かく対応する。</p>

4 本庄高校と本庄北高校の統合

対象校	再編整備の方針等
<p>本庄高校 本庄北高校 (名称：本庄高校)</p>	<p>(方針) 本庄高校と本庄北高校を統合し、新たな高校を現在の本庄高校に設置する。 同一市町村内の統合で、かつ課程及び学科に変更がないことから、新校は設置校である本庄高校の名称を継承する。</p> <p>(時期) 新たな高校は、平成25年度に開校する。</p> <p>(生徒募集) 新たな高校は、平成25年度入学者選抜から生徒募集を行う。 本庄高校は、平成24年度入学者選抜まで生徒募集を行う。 本庄北高校は、平成22年度入学者選抜まで生徒募集を行う。</p> <p>(課程・学科) 全日制課程の普通科とし、単位制を導入する。</p> <p>(新たな高校の基本方針) 多様な教科、科目を開設する教育課程を編成し、生徒、保護者の進学希望にきめ細かく対応する。</p>

5 吉川高校（全日制及び定時制）と草加高校（定時制）の統合

対 象 校	再 編 整 備 の 方 針 等
<p>吉川高校（全・定）</p> <p>草加高校（定）</p> <p>（仮称：吉川新校）</p>	<p>（方針）</p> <p>吉川高校の全日制課程及び定時制課程、草加高校の定時制課程を統合し、新たな高校を現在の吉川高校に設置する。</p> <p>（時期）</p> <p>新たな高校は、平成25年度に開校する。</p> <p>（生徒募集）</p> <p>新たな高校は、平成25年度入学者選抜から生徒募集を行う。</p> <p>吉川高校の全日制課程及び定時制課程並びに草加高校の定時制課程は、平成24年度入学者選抜まで生徒募集を行う。</p> <p>（課程・学科）</p> <p>部（全日制課程及び定時制課程，午前～午後） 部（定時制課程，夜間）の二部制による総合学科とする。</p> <p>（新たな高校の基本方針）</p> <p>様々な進路希望や学習歴をもつ生徒が自分に合った形で学べるよう、二部制で授業を行い、定時制課程にあっては3年間での卒業も可能な、柔軟な学習システムを導入する。</p> <p>多様な選択科目を開設し、生徒一人ひとりの能力や個性に応じた進路実現を支援する。</p>

6 玉川工業高校

対 象 校	再 編 整 備 の 方 針 等
玉川工業高校	<p>(方針) 玉川工業高校を閉校し、同校の教育内容は県内の他の工業高校において継承する。</p> <p>(時期) 平成24年度末に閉校する。</p> <p>(生徒募集) 平成22年度入学者選抜まで生徒募集を行う。</p>

7 幸手商業高校(定時制)、松山高校(定時制)及び児玉高校(定時制)

対 象 校	再 編 整 備 の 方 針 等
幸手商業高校(定) 松山高校(定) 児玉高校(定)	<p>(方針) 幸手商業高校、松山高校及び児玉高校の各定時制課程を閉課程とする。</p> <p>(時期) 平成25年度末に閉課程とする。</p> <p>(生徒募集) 平成22年度入学者選抜まで生徒募集を行う。</p>

8 和光国際高校

対 象 校	再 編 整 備 の 方 針 等
和光国際高校	<p>(方針) 和光国際高校の情報処理科を普通科に転換する。</p> <p>(時期) 平成23年度に学科を転換する。</p> <p>(生徒募集) 平成22年度入学者選抜まで、情報処理科の生徒募集を行う。</p> <p>(課程・学科) 全日制の課程、普通科及び外国語科とする。</p>

9 与野高校

対 象 校	再 編 整 備 の 方 針 等
与野高校	<p>(方針) 与野高校の商業科を普通科に転換する。 与野高校の普通科における理数コースの生徒募集を停止する。</p> <p>(時期) 平成23年度から一括、普通科とする。</p> <p>(生徒募集) 平成22年度入学者選抜まで、普通科、同科における理数コース、並びに商業科の生徒募集を行う。</p> <p>(課程・学科) 全日制の課程、普通科とする。</p>

(参考資料)

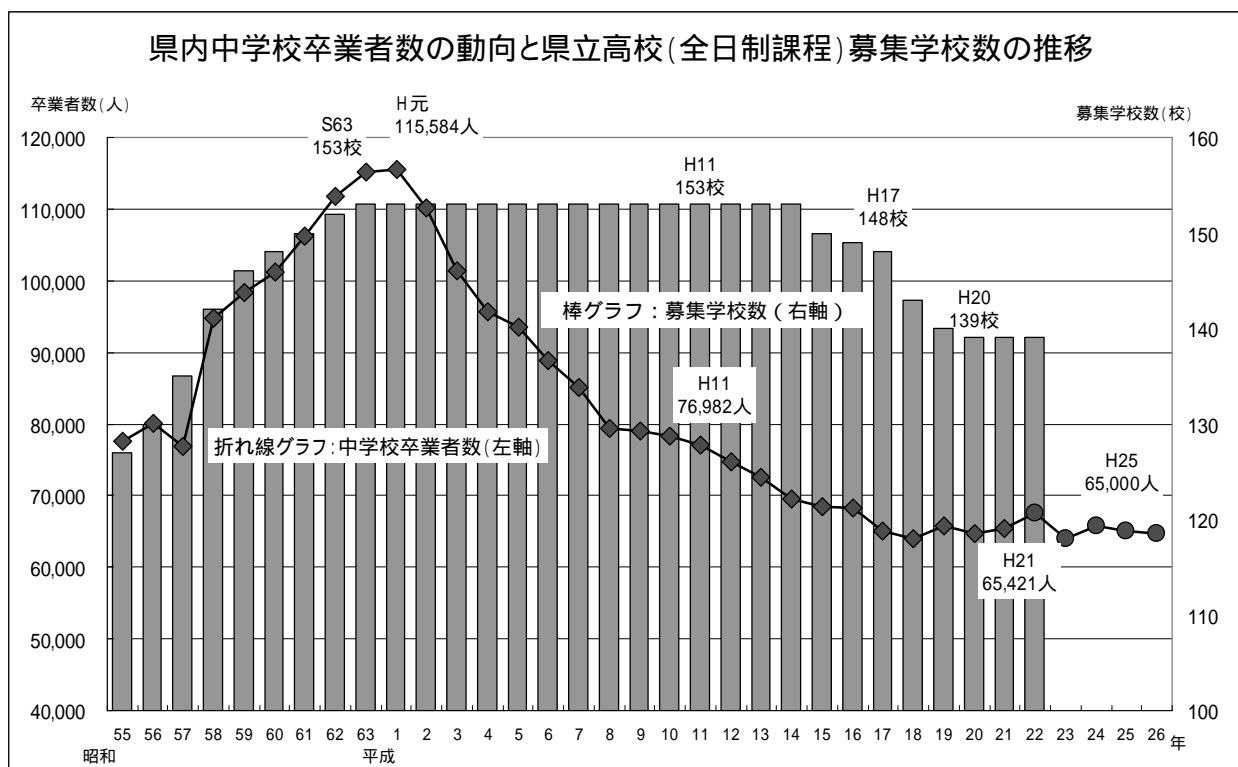
県内中学校卒業生数の動向と適正な学校規模

1 県内中学校卒業生数の動向

県内中学校卒業生数は、平成元年3月にピークを迎え115,584人であったが、その後、急減し、平成18年3月にはボトムの63,983人、ピークの55.4%となった。

平成18年1月の「義務教育人口推計結果報告書(平成18~23年度)」などに基づく、県内中学校卒業生数は、平成22年に一時的に増加して約67,400人となるが、平成23年には再び減少して約64,700人になると見込まれている。さらにこの報告書などに基づき、平成23年以降の中学校卒業生数を予測すると、小さな幅での増加・減少を繰り返しながら推移し、平成25年には、約65,000人になると推計される。

今後の県内中学校卒業生数の動向については、首都圏に位置する本県の地理的状況などを考慮し、慎重に見守る必要がある。



県内中学校卒業生数は、平成21年度までは実績値、平成22年度以後は推計値である。

2 適正な学校規模

生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進むと、多様な教育課程の編成が困難になったり、学校行事などの特別活動や部活動の活力が低下したりするなど、学校運営上の課題が生ずる。学校の活力を維持する観点から、一定の学校規模を確保することにより、各学校の活性化を進める。

学校規模については、1学年当たり

- ・普通科高校 320人~240人(8学級~6学級)
- ・専門高校 240人 (6学級)
- ・総合学科高校 320人~240人(8学級~6学級)

を標準とする。